

◆日本共産党は今年創立104年。憲法を真ん中にした確かな共同の輪を広げます。

休日当番病・医院



1月11日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 同樹会苦小牧病院 新中野町 36-1221
- ◆歯科 松井デンタルクリニック 明野新町 57-8241

1月12日(月)<成人の日>

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 苦小牧泌尿器科・循環器内科 明野新町 57-0455
- ◆歯科 ほっこう歯科八谷矯正歯科クリニック 北光町 71-2580

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本誌は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



親身な相談で定評

1月27日(火)
横山浩之弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
日本共産党市議会ホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

12月市議会

小野寺議員 特定利用港湾の利用実態追及

苦小牧の利用多く台湾有事での使用可能性大



苦小牧港は10回利用したと回答しています。市は利用現状について、23年は8回、24年は10回、25年は12月現在10回の使用があったと答弁。他港は、多くても年6回、平均回数は3・6回です。

小野寺議員は、「内閣官房が公表したQ&Aでは、『年数回を想定』とあります。なぜ苦小牧港はこれだけ多いのか」と指摘。さらに「一部の施設については、従来から自衛隊が訓練で頻りに利用しており、これまで同様に利用させていたことを想定している」と明記されているため「特定利用港湾の指定を同意した際、苦小牧港が『一部の施設』という認識があったのか」とたどりました。産業経済部長は、「認識していた」と答弁。

有事における特定利用港湾に対する質問主意書に対する訓答書では、『平素からの訓練等で、空港・港湾を利用することについて、侵攻部隊に對しより遠方で対応することに資するように』と記載されていることに触れ、小野寺議員は「特定利用港湾は、侵攻部隊に對する港なのですか」と追及。産業経済部長は

「イメージとして、航空機の状況に応じて自衛隊を配置することで、侵攻に對し遠隔で対応すること。実効性を確保するため、平素から訓練するとしていた」と国の説明を讀むだけに終始し、「民生利用が前提となり、大きな変化はない」と従来の答弁も持ち出しました。

小野寺議員は、「国の『平時の定義』には、存立危機事態や重要影響事態も含まれます。台湾有事で苦小牧港が使われる可能性もあります」と懸念を示しました。

強調。「国と市の確認事項には、存立危機事態や重要影響事態の場合は、迅速に施設を利用できるように努めるとあります。パース会議はせずに、自衛隊の利用が優先されると言うことではないか」と指摘しました。産業経済部長は、「緊急性が高い場合には、民生利用に配慮しつつ、柔軟かつ迅速に利用できるように努めなければならない」と言うことであり、パース会議に諮るうえで、迅速に使えるようにする」と強調しました。

小野寺議員は、「特定利用港湾は安保三文書が大前提です。もつと危機感をもつべきです。どうやって市民の安全安心を守るのですか」と強く懸念を示しました。

泊再稼働やめ原発に頼らない道を

畠山・紙氏ら元日宣伝

高市首相は退陣



日本共産党の畠山和也元衆院議員は1日、札幌市清田区などの神社前で元旦宣伝を行い、参拝者らに新年のあいさつと決意をのべました。紙智子前参院議員や札幌市議らも参加し、足をとめて聞く参拝に来た人たちが、激励の声をかけていく市民もいました。

畠山氏は、2年前の元旦に起きた能登半島地震の被災者に思いをはせ、「2年経っても住宅再建の見通しが立っていない実態に、政治の力で早

核兵器禁止条約の批准を
大軍拡反対!
外交で平和を
日本共産党

く暮らしの安心や住宅の再建をすべきです」と指摘しました。「能登の地震で4月も大きく隆起した地点があったことを考えると、やっぱり泊原発の再稼働はやめるべきです。鈴木知事が容認したとはいえ、再稼働は来年になりま

す。再生可能エネルギーの拡充など、原発に頼らない北海道と日本をつくりましょう」と強調。「暮らしの困りごと」は遠慮なく、自民党政治の行き詰まりを大から変える対案を示す日本共産党へ相談を」と呼びかけました。

紙氏は、高市政権による大軍拡や、中国を名指した発言を厳しく批判。日本国憲法に反する発言は撤回すべきだと指摘し、「安心して暮らせる希望をもてる政治に変えていきましょう」と訴えました。10代の3人と日中関係について対話に。13歳の少年は、「中国に絵を描いている友人がいます。全ての中国人をひとまとめに敵視するのではなく、日本にもマナーの悪い人も良い人もいるように個別に考えてほしい」と話し、日本共産党の「お互い脅威とならないように」という立場を知ると、「とても良いと思います」と共感を示しました。

地域医療崩壊始まっている

苦小牧市議会 診療報酬引上陳情採択

苦小牧市議会の12月定例会

は10日、厚生委員会を開き、苦小牧市社会保険推進協議会(宮崎有広会長)が提出した「診療報酬引き上げを国に求める要望意見書提出に関する陳情」を審査しました。日本共産党は原啓司議員が委員を務めています。

です。

委員からは「地域医療を守るために早急の引き上げが必要」「物価高騰に見合った診療報酬が必要」と、

療報酬が必要」「陳情の内容は、医療現場での一刻の猶予も許さない切実な声だ」などの意見が相次ぎ、全会派一致で採択しました。

12日の本会議でも、診療報酬引き上げを求める「要望意見書案」は全会派の賛成で採択しました。

国民主権否定し戦前復活狙う

苦小牧九条の会学習会 参政党憲法案読む

「苦小牧九条の会」は12月7日、アイビープラザで、参院選で躍進した参政党が昨年5月に発表した「新日本憲法(構想案)」についての憲法学習会を開きました。事務局員

づけ、天皇は元首として国を代表するとし、天皇主権に限りなく近く、国民主権の記述はありません。統治機構は國體(国体)を尊重するとしています。

基本的な人権の文言がなく、権利を「権理」と造語し、権理には義務が伴い、自由には責任が伴うと強調。家族を社会の基礎におき、戦前の家族制度復活を唱え、男女同権なく、夫婦同姓とし、LGBTQ・同性婚・選択的夫婦別姓などには反対です。

平和主義と国よりも、非武装・平和主義を定めた現行9条を全面的に廃止し、武力行使を任務とする自衛軍の保持や、諜報活動を防ぐ機関設置(スパイ防止法制定)を定め、外国人・帰化に対する禁止規定が多数盛り込まれ、日本人ファーストが強調されています。

2026年の合併号発行計画

民主苦小牧の2026年の合併号の発行計画をお知らせします。政治情勢などにより変更する場合があります。

- ▼3月15日号と22日号を合併
- ▼5月3日号と10日号を合併
- ▼8月9日号と16日号を合併
- ▼11月8日号と15日号を合併



昨年配られた参政党のチラシ

教育の面では、歴史と神話、

「多様な民意を切り捨てる比例定数削減に反対する請願」に「協力をお願いします」

生業と暮らしを守るために

消費税減税 インボイス廃止 日本共産党

修身は必修とし、教育勅語、愛国心は教育において尊重しなければならなく、戦前の天皇絶対の価値観を復活させようとしています。

古川さんは、構想案は全33条にわたり、主張したいことを33項目を並べた稚拙な文書で、憲法としては精査が必要だと指摘。「そもそも憲法の本質は権力者の行いを縛るという点にあり、憲法は権力者が守るものと言ったことが無視されています。したがって、権利には義務が伴い、義務を果たしていないものには権利がない」というのは暴論です。私たち市民が声を大きくしていけば、この構想案は阻止することができます」と力を込めました。

学習会は、項目ごとにクイズ形式で進められ、会場は盛り上がりがありました。

ほんの紹介

◆『資本論』全三部を読む・新版(全7巻)不破哲三著(新日本出版社)各巻2200円(税込) 膨大な研究をもとに1章1章を的確に解説。重層的な深さをもつ資本論を読み解き、社会変革の壮大な展望を示します。いざ挑戦を。

国会かけある記 はたやま和也



未来に向けた言葉を広げよう

年が明けたばかりというのに腹立たしい。米国がベネズエラを攻撃して、マデウロ大統領を拘束したばかりか、米国がベネズエラを運営するとトランプ大統領が言明しました。

これを軍事侵略による国家転覆と言わずして、何というのか。国際法に反する蛮行を認めたら、世界は軍事力が横行する無法地帯ばかりになってしまいます。

日本政府は「力による現状変更は認めない」と、何度ものべてきました。しかし、高市首相は触れようともしません。米国言いなりで大軍拡に突き進み、日本を戦争する国へ導くなど許されません。何としても比例議席を回復し、歯止めの力となって働きたい。

新年は元旦の宣伝(札幌市白石区・清田区)、函館で日本共産党と後援会の「新春交流のつどい」とまわりました。高市政権の横暴に立ち向かうと、どこでも意気盛ん。物価高や生活苦にも、高市政権に打開策はありません。宣伝には若い世代からの激励もあり励まされました。未来に向けた言葉を、どんどん広げていかなければ。

年末に、日本共産党の先頭に立ってきた不破哲三前議長が亡くなりました。安倍元首相に千島領土問題で追及する際に、不破さんも同じく追及した質問議事録を読み直し、事実と道理にもとづく論戦が大事と学びました。その立場での質問に、安倍氏も「委員(島山)のおっしゃっていることを、私は否定するものではありません」とのべざるを得なかったのです。



函館の新春交流の集いで参加者と(4日)

日本共産党ここにあり。元気に訴えていきます。島山和也(はたやま・かずや)日本共産党元衆議院議員